

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス柏Ⅱ教室			
○保護者評価実施期間	2025年8月18日 ～ 2025年8月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2025年12月17日 ～ 2024年12月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【個別支援と集団支援を組み合わせた支援体制】 個々の児童の特性やニーズを踏まえたアセスメントと、職員間での情報共有を基盤とした一貫性のある支援体制が構築されている	個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援計画を作成	・アセスメント結果や支援の視点をより言語化・可視化し、職員間での理解の精度を高める ・個別支援と集団支援のねらいを整理した共通フォーマットを作成し、支援の再現性を高める
2	【イベントを通じた実践的な学びと経験の提供】 日常の支援に加え、イベントを通じて児童が多様な経験を積める機会を提供している。	季節行事やテーマ性のあるイベントを企画し、集団の中での役割意識や他者との関わりを意識した活動を取り入れている。	イベントの目的や育成したい力を明確化し、事前・事後の振り返りを支援に組み込むことで、日常のトレーニングとのつながりを強化していく。
3	【ペアレントトレーニングを中心とした保護者支援】 ペアレントトレーニング等を通じて、家庭と連携した支援を行い、保護者支援に力を入れている点。	定期的にペアレントトレーニングを実施し、保護者同士の交流や情報共有の機会を設けるとともに、日常的な相談対応を行っている。	保護者支援の内容や目的をより分かりやすく整理し、家庭での関わり方と事業所での支援がより連動するよう、情報提供やフィードバックの充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【関係機関・地域との連携の広がり】	学校や相談支援事業所との連携は行っているものの、就学前に利用していた保育所・幼稚園等との情報共有や、地域の児童発達支援センター、協議会等との連携については十分とは言えず、地域全体を見据えた支援体制の構築に課題がある。	就学前に利用していた保育所・幼稚園・児童発達支援事業所等との情報共有の機会を意識的に設け、必要に応じて連絡や情報交換を行う体制を整える。また、地域の児童発達支援センターや関係機関との連携についても、助言や情報提供を受けられる機会を検討し、支援の幅を広げていく。
2	【外部評価・第三者視点の活用】	内部での振り返りや業務改善は実施しているが、第三者による外部評価や客観的な視点を取り入れる機会が限られており、支援や運営を多角的に検証する仕組みが十分に整っていない。	内部での自己評価や振り返りに加え、外部研修や他事業所との情報交換等を通じて、第三者の視点を取り入れる機会を検討する。客観的な意見や助言を業務改善に活かすことで、支援内容や運営体制のさらなる質の向上を図る。
3	【地域に開かれた事業所運営の取り組み】	法人内事業所との交流やイベントは行っている一方で、地域住民や地域資源を巻き込んだ取り組みについては実施機会が少なく、事業所として地域に開かれた運営の面で今後の工夫が必要である。	地域住民や地域資源との関わりを意識し、イベントや活動の中で地域との接点を持つ機会を段階的に検討する。無理のない形から取り組みを進め、事業所として地域に開かれた運営を目指すとともに、児童が地域と関わる経験を積める環境づくりを行う。